

着工（平成 24 年 9 月）して、早 1 年を過ぎる。今月の上棟を目指し現場は緊張感のある活気でみなぎっている。

現場の中庭に立つと、間口 10m、奥行 17mの 2 層吹き抜け（5.5m）のオープンテラスが、資材の搬入のための通路となり、ダンプが排気音を出しながら入れ替わり出入りしている。

現在は躯体を削り貫いた大きなトンネルの光景だが、6 ヶ月後には、対岸にしだれ桜を、更に公園の紅葉を借景とした風景に変わる。

このオープンテラスと、西側と東側の 2 層吹き抜けのラウンジ（北側はライブラリー）からの自然光や抜けによって、集合住宅の核となる『中庭』は、景観性と自然光や風を感じる庭となる。

計画段階でこのオープンテラスは何度か没案の憂き目にさらされた。

このオープンテラスの空間には、2 スパン 2 層分のため南向きの住戸が 4 戸分入る。人気の高い南向 4 戸を作るべきではないか。更に 11 階分の住戸が 2 スパンあるため、柱を 3F 床梁で支える事になる。大梁に鉄骨を入れても梁成は 2m程になる。実施段階では、この大梁だけでは持たず、桁行方向にもテンションを掛ける必要が出てきた。コストは鉄骨も含めて 3000 万円くらいになる。

しかし、このオープンテラスを潰せば中庭はコンクリートに囲まれた空間で一生終わる。

この集合住宅全体の核となる中庭の風景をつくる事が、全体の付加価値を上げる事になると説得を続け、今大きなトンネル状の空間は出来上がった。

当初に思い浮かべた風景づくりまでもう一踏ん張りである。



中庭越しにオープンゲートテラスを見る。



中庭からオープンゲートテラス。シダレ桜を見る。